

## 一 あおぞら薬局の展開

羽咋市鶴多町の大通りに面して、コンパクトにまとまった銀色に輝くモダンな店舗がある。内部も白一色に統一され、店頭の看板がなければホテルのロビーあるいは、喫茶店、美容院など間違いかねない。今話題の「あおぞら薬局」の一店スクエア鶴多店である。

従来の薬局というイメージを打ち壊し、来店者にアメニティ(快適性)を体感してもらうことによって、健康回復をサポートし、ストア・ロイヤリティ(店への親近感)醸成を狙って設計された明るい店舗である。

## 探訪 チャレンジ企業 49

高い企業価値の実現を目指して  
「あおぞら薬局」を展開  
グランファルマ株式会社

あおぞら薬局スクエア鶴多店(羽咋市)

「あおぞら薬局」は、本社を金沢市本町のリファール内に、統轄事務所を中能登町能登部におく「グランファルマ(株)」直営のチェーン薬局群だが、県内では金沢市に四店、七尾市に六店、小松市、羽咋市、輪島市に各二店、津幡町、野々市町、能登町に各一店の計十九店を展開し、更に愛知県の二店を加えて、総店舗数が二十一店にも達する県内薬局チェーン最大手の一つである。

二 プレミアムな薬局の創設  
「グランファルマ(株)の軌跡」

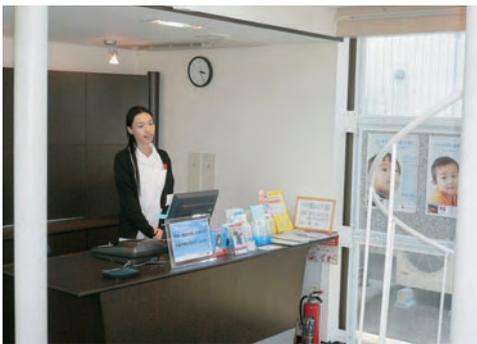
医薬品業界は、他の小売業が伸び悩むのを尻目にここ十年程、売上高が年率一〇%以上も増加するという羨ましいような高成長を続けてきた。

しかし、一口に医薬品業界と言っても、日用雑貨や化粧品なども取り扱い、薬の販売比率が一〇%にも満たないドラッグストア的な「低コスト追求型」と、本業の薬だけに特化し医師

が発行する処方箋に基づいて調剤する「高付加価値追求型」の二タイプに区分される。グランファルマ(株)は、後者を選択したが、更に価値を高めるべく「プレミアムな薬局」というコンセプトを打ち出した。同社資料には「上質のイメージを保持しつつ、多様な個性/ライフスタイルに対応する薬局」と解説されているが、これを業務に適用すると「最高の技術・学術を保有し、それらを駆使することによって患者一人一人に対して、最適の調剤を行うこと」と解釈できる。価格面に限れば、特定の患者に対して、ジェネリック医薬品(先発品の特許切れで安く製造できるようなった医薬品)を使用することも、その一例となる。

三 バリデーション機能の充実  
「プレミアム薬局実現の鍵」

同社には「プレミアムな薬局」と表裏一体の関係にあるもう一本の強力な支柱がある。



あおぞら薬局スクエア鶴多店内部



代表取締役社長 柴田寛治氏

それは「バリデーション機能」である。「確認」あるいは「有効たらしめること」などと訳されるが、これを同社に適用すると「薬剤師としてのプロ意識を高めることによって、自己の技術学術を磨き上げ、それを調剤の場で一〇〇%発揮するとともに、医薬品の開発段階や市販後の調査研究段階にも深く関与して薬剤師という高度資格保持者としての能力を完全に出し切る」ということになる。この機能を充実させていけば、薬剤師は患者と医師とのコーディネーターとして、また連絡窓口として、その役割を完全に果たせるはずである。同社の調剤企画室、リスクマネジメント室、DI室、サポート室などの社内組織も、この機能を支援し、補完するために設けられている。

平成十年の調剤薬局開設以来、同社の高付加価値薬局を目指すという方針にはいささかのブレもない。これが同社発展の最大の理由であろう。

## 四 CSR活動

「コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ」

最近、CSRという言葉をよく耳にする。一言で言えば「企業の社会的責任」ということだが、同社も、この活動を積極的に推進している。それは、次の二点に要約される。

一つは、コンプライアンス(法令順守を基盤とする「行動規範」を定めたことである。個人の尊厳、公正な事業活動、社会貢献などが定められていて、調剤・接客の場で格調高い活動が展開されていくはずである。もう一つは、戦争、貧困などに苦しむ世界の子供達を支援するために処方箋の受付一回につき一円を国連承認のNGO「セーブ・ザ・チルドレン」に寄付するという国際的な活動である。これらを通じて社員の一人一人が自覚を高めていけば、社会から高く尊敬される企業へと発展を続けていくことは疑いない。その見返りが「高業績」であり「高成長」であろう。

(お問い合わせ)

グランファルマ 株式会社

〒九二〇〇〇八五三

石川県金沢市本町一丁目

五番二号、リファール十八階

TEL〇七六―三三―三九〇二

FAX〇七六―三三―三九二二

http://www.granpharma.co.jp/

能登事業所

〒九二九一―一六〇二

石川県鹿島郡中能登町

能登部上り部一八番地八

TEL〇七六―七七一―三九五三

FAX〇七六―七七一―三九五四

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。